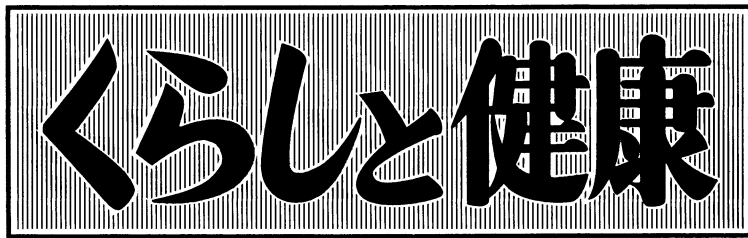


代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践



発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
TEL 03(3404)7661
E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。



東京民医連総会にて

第42回全日本民医連定期総会スローガン

- 戦争法を廃止し、立憲主義の回復、平和憲法を守る国民運動の架け橋となり、希望ある時代を切り拓こう
- 共同組織とともに、無差別・平等の地域包括ケアと安心して住み続けられるまちづくりにとりくみ、住民本位の地方自治発展に結びつけよう
- 民医連らしい医療・介護の実践と健康権・生存権保障の担い手づくりを一体にすすめ、人間的な発達のできる組織をめざそう!

超高齢化社会に向け、全国各地において無差別・平等の医療、介護の取り組み進む

全日本民医連、東京民医連が定期総会を開催

全日本民医連の第42回定期総会が3月10日〜12日に福岡市にて、東京民医連の第53回定期総会が2月26日〜27日に府中市にて開催されました。戦争法廃止と立憲主義の回復、平和憲法を国民的運動で守ること、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを共同組織と進めること、民医連の医療・介護の実践と後継者づくりを行っていくことが確認されました。

戦争法強行採決、大企業優先と格差拡大

昨年9月に安倍政権が戦後最悪・憲法違反の戦争法を強行採決しました。しかしそれに反対する声が全国各地で沸きおこり様々な層に広がり、戦争法廃止に向けて野党が共闘する合意がなされました。

これに対して全日本民医連総会では戦争法廃止、立憲主義の回復、平和憲法を守るとした特別決議が採択されました。

給付費削減のための「地域包括ケア」

2025年に団塊の世代が75歳以上に達し医療・介護への需要が増えることを受け、医療・介護給付費削減のため、「地

域包括ケア」として「入院から在宅へ」「医療から介護へ」「市場からボランティアへ」の流れが進んでいます。

これにより病床削減や特別養護老人ホームの入所制限、介護保険の要支援者に対するサービスの一部を市町村に移してサービス自体の縮小などが行なわれています。

一方その主体とされる各地の市町村からは、公務員削減による事務負担の増大、財政力不足、生活困窮者の増加などを理由に運営を危惧する声があがっています。

私たちのめざす「地域包括ケア」

超高齢化社会をむかえている中で「地域包括ケア」は、本人と家族に自己責任の負担が大きいのしかかっています。私たち民医連は、誰もが暮らし続けるために、無差別・平等の医療・介護・福祉の一体的提供の「地域包括ケア」をめざしています。

そのためには保健、医療、歯科、介護活動などで共同組織と連携・協力し、HPH（健康増進活動拠点病院）の運動を行い、また、民医連内外の在宅医療・介護事業者と

のネットワークを構築していく無差別平等の医療・介護を実現していく必要があります。

民医連綱領に基づく医療・介護・福祉の実践

私たち民医連は、人々の苦しみのあるところに生まれ、設立当初より患者の立場に立つ医療・介護を実践してきました。

今こそ、民医連綱領（「人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめる人びとのいのちと健康を守ります」と述べている）の実践が強く求められています。

職員の代議員

地域にしっかりと情報発信し連携を

全日本民医連定期総会代議員 代々木病院 奥山律子

友の会から

無差別・平等の地域包括ケアの発展へ

全日本民医連定期総会代議員 代々木健康友の会 会長 布施 仁
無差別・平等の医療・介護は、今まで友の会や



地域の医療・介護を展開していくため、代々木病院が地域を中心にしていかなければならないと思いました。

同時に共同組織や同じ法人の院所、そして住民、地域包括支援センターなどと連携、意見交換をしていく必要性を感じました。

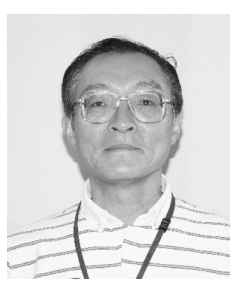
健康づくりのネットワークの構築を

東京民医連定期総会代議員 代々木病院 加藤吉夫



健診センターでは、健康診断を通じて、身体の健康づくり、心の健康づくりを地域の住民・労働者に働きかけ、共同組織

代々木病院が行ってきたころばん体操などの「健康づくり」や、食事会などの「居場所づくり」の



や企業と連携し、渋谷区全体に地域丸ごと健康づくりのネットワークを構築し、広げていきたいと考えています。

利用者本位のサービス提供を

全日本民医連定期総会代議員 東京さくら福祉



国は入院から在宅へ、医療から介護へという流れを構築しようとしています。

民医連のめざす無差別・平等の医療・介護の目的は、「誰もが、その人らしく、安心して暮らし続けるために、住民と医療・介護のネットワークを実現することです。地域の方たちを受け止め、利用者本位の医療・介護サービスを提供するためのネットワーク作りを進めていきたいと思えます。

活動と重なります。さらに発展させるため病院と協議し新しい形態を検討しています。こうした活動を積極的に担っていただけでも3倍にも増やしていくことが重要だと考えています。そのために頑張ります。

千駄の萱

待ちに待った春がやってきました。たくさんのお花々が咲き、動物や虫たちが活動を始める、

この季節です。新しい仕事が始まったり、職場が変わったりする方もいらっしゃるのではないのでしょうか。春に咲く、たくさんのお花の言葉を持っています。サクラを見ると、正に心が洗われます。生きるということには多くの苦しみが伴います。我々は、サクラのように、華麗に咲いて潔く散る姿に、どこか憧れを抱いているのでしょうか。次は初夏の花ですが、藤です。「歓迎」という言葉があります。今年も代々木病院に新入職員が入ります。大きく育ってくれよう、皆で歓迎したいものです。▼アヤメには「希望」の花言葉があります。日本の行く末にきな臭いものを感じます。政府には、「普通」に戦争ができる国ではなく、自分の将来に希望を抱き、それに向かって努力したり、恋をしたり、そんなことが「普通」に出来る社会を作ってほしいです。

(け)